

A 故事の筋道を読む

全8問の解答・解説 | 練習用

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

問1

答え・解答例 矛と楯を売っている商人。

解説 聞き手が商人へ話しかけている。「子」はこの文では「あなた」であり、子どもではない。

問2

答え・解答例 どんな物も通さない楯と、どんな物でも通す矛は、同時には成り立たないから。

解説 矛が通れば楯の説明が、通らなければ矛の説明が崩れる。

問3

答え・解答例 イ

解説 固は「固い」ではなく「もともと」。

問4

答え・解答例 完成した蛇に不要な足を付け足している間に、別の人が蛇を完成させて酒を飲んだから。

解説 遅く描いたのではなく、完成後の不要な作業が原因。

A 故事の筋道を読む

全8問の解答・解説 | 練習用 つづき

問5

答え・解答例 ウ

解説 木を切った後の根元を表す。

問6

答え・解答例 昔の政治のやり方を、時代の違いを考えずに今の人々へそのまま当てはめるやり方。

解説 農夫の偶然への固執が、政治の旧習への固執を説明している。

別解・許容 古い方法にこだわり今の状況に合わせない政治、という内容なら可。

問7

答え・解答例 戦場から逃げること。

解説 単に競争して走るのではなく、戦いから逃げる場面。

問8

答え・解答例 距離に差はあっても、どちらも戦場から逃げた点で同じだから。

解説 数字の差と、本質的な共通点を分けて捉える。

B 原文から意味を捉える

全8問の解答・解説 | 練習用

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

問1

答え・解答例 鳥と貝：趙と燕。漁師：秦。

解説 鳥と貝のどちらが趙かまでは指定しない。二国の消耗を第三国が利用する構図。

問2

答え・解答例 争っていた鳥と貝。

解説 漁師が両方まとめて捕らえた。「並」が二者をまとめる。

問3

答え・解答例 天や地が崩れて、自分の身を置く所がなくなること。

解説 根拠のない大きな心配が生活まで妨げていた。

問4

答え・解答例 よくない。具体的な根拠に基づく必要な備えは、心配しなくてよいことを心配するのは違うから。

解説 故事成語は文脈を確かめて使う。原典中の天についての説明を現代科学として扱わない。

B 原文から意味を捉える

全8問の解答・解説 | 練習用 つづき

問5

答え・解答例 変更前も後も七つ。合計が変わらない点を見落とした。

解説 朝だけを見ると増えているが、夕方は一つ減る。

問6

答え・解答例 同じ合計なのに言い方や配り方を変えて、相手を喜ばせて欺くこと。

解説 猿の目先の反応を利用している。

問7

答え・解答例 おんこちしん

解説 「温」を温度の意味だけで捉えない。

問8

答え・解答例 知新

解説 新しい理解を得る段階がある。「温故」だけで終わらない。

C 今の場面に当てはめる

全8問の解答・解説 | 練習用

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

問1

答え・解答例 ウ

解説 文字数ではなく、古い故事や書物の言葉との結び付きが基準。二字や六字などもある。

問2

答え・解答例 ア

解説 同じ時刻・場所・条件で「誰もいない」と「一人いる」は両立しない。

問3

答え・解答例 蛇足

解説 完成した内容のよさを不要な付け足しが損なう。

問4

答え・解答例 前者は温故知新で、以前の知識から新しい工夫を得ている。後者は守株で、変化に応じず古い方法に固執している。

解説 両者とも過去に関わるが、そこから新しく考えるかどうかが違う。

C 今の場面に当てはめる

全8問の解答・解説 | 練習用 つづき

問5

答え・解答例 イ

解説 差を全く否定するのではなく、比較する本質では同じだと述べる。

問6

答え・解答例 漁夫の利。二者の争いによって、第三者である店が利益を得たから。

解説 単に商売が成功しただけでなく、二者の争いを背景にしている。

問7

答え・解答例 心配していたことは起こらず、取り越し苦労だったと分かった。

解説 この文では、実際に問題なく行われた後の振り返り。

問8

答え・解答例 朝の枚数が増えたことだけを見て、一日の合計が同じ七枚であることに気づいていないから。

解説 配る時刻の好みを問題にするのではなく、合計が増えたという誤解を問う。

D 定期テスト対策

全8問の解答・解説 | Dのみ100点

記述は、必要な内容と問いの条件を満たす別の表現も正答です。

問1〔10点〕

答え・解答例 ①むじゅん ②だそく

解説 字面から意味を想像しただけでなく、読みも確認する。

採点 各5点。

問2〔10点〕

答え・解答例 故事成語は四字とは限らず、例えば「矛盾」は二字である。

解説 蛇足・杞憂、五十歩百歩、漁夫の利なども例になる。

別解・許容 四字とは限らないと述べ、矛盾／蛇足／杞憂／五十歩百歩／漁夫の利などを示せば可。

採点 四字とは限らない5点、適切な具体例5点。

問3〔10点〕

答え・解答例 どちらも戦場から逃げたこと。

解説 「是れも亦た走るなり」の内容。

採点 二者に共通する「戦場から逃げたこと」で10点。

問4〔10点〕

答え・解答例 漁夫の利

解説 争っていた二者と、利益を得る第三者を分けて捉える。

採点 漁夫の利で10点。

D 定期テスト対策

全8問の解答・解説 | Dのみ100点 つづき

問5〔10点〕

答え・解答例 ウ

解説 変化を見ずに過去の成功にこだわる点が守株に通じる。

採点 ウ／守株で10点。

問6〔15点〕

答え・解答例 突き通せた場合は何も通さない楯という説明が誤りになり、突き通せなかった場合は何でも通す矛という説明が誤りになるから。

解説 どちらの結果でも一方の主張が崩れる。

採点 通せた場合に楯の説明が崩れる7点、通せなかった場合に矛の説明が崩れる8点。

問7〔15点〕

答え・解答例 温故知新は過去を学び直して新しい理解を得ることだが、守株は過去の方法に固執して変化に応じないこと。

解説 古いか新しいかだけでなく、学び方・対応の仕方を比べる。

採点 温故知新の学び直しと新しい理解8点、守株の固執と変化への不对応7点。

問8〔20点〕

答え・解答例 食べる時刻の好みを愚かだと決めつけている点が問題で、故事は一日の合計が変わらないのに目先の差だけで喜怒を変えることに注目している。

解説 現実の生活では時刻の違いが大切な場合もある。話のたとえばどこに注目しているかを読む。

採点 時刻の好みを一律に愚かとする問題点8点、合計が同じ6点、目先の差で反応する点6点。